セキュリティ区分の考え方

来庁者エリアと職員・議員エリアをゲートで明確に分ける。

セキュリティ外
来庁者エリア

・エントランス、総合窓口、議場、一部会議室、１Ｆ共創スペース等
・来庁者の用件はこのエリアの主に１Ｆ総合窓口で完結させる。
・機械・展望スペースは共用部として扱う。

セキュリティ区画
職員エリア
フラッパーゲート／カードリーダー

・執務室、市長室、災対本部等
・１Ｆに専用ゲートを設置し、通過者を制限
・職員はカード認証等で通過
・区画内は、職員が自由に移動できる。

議員専用エリア内
議員控室等

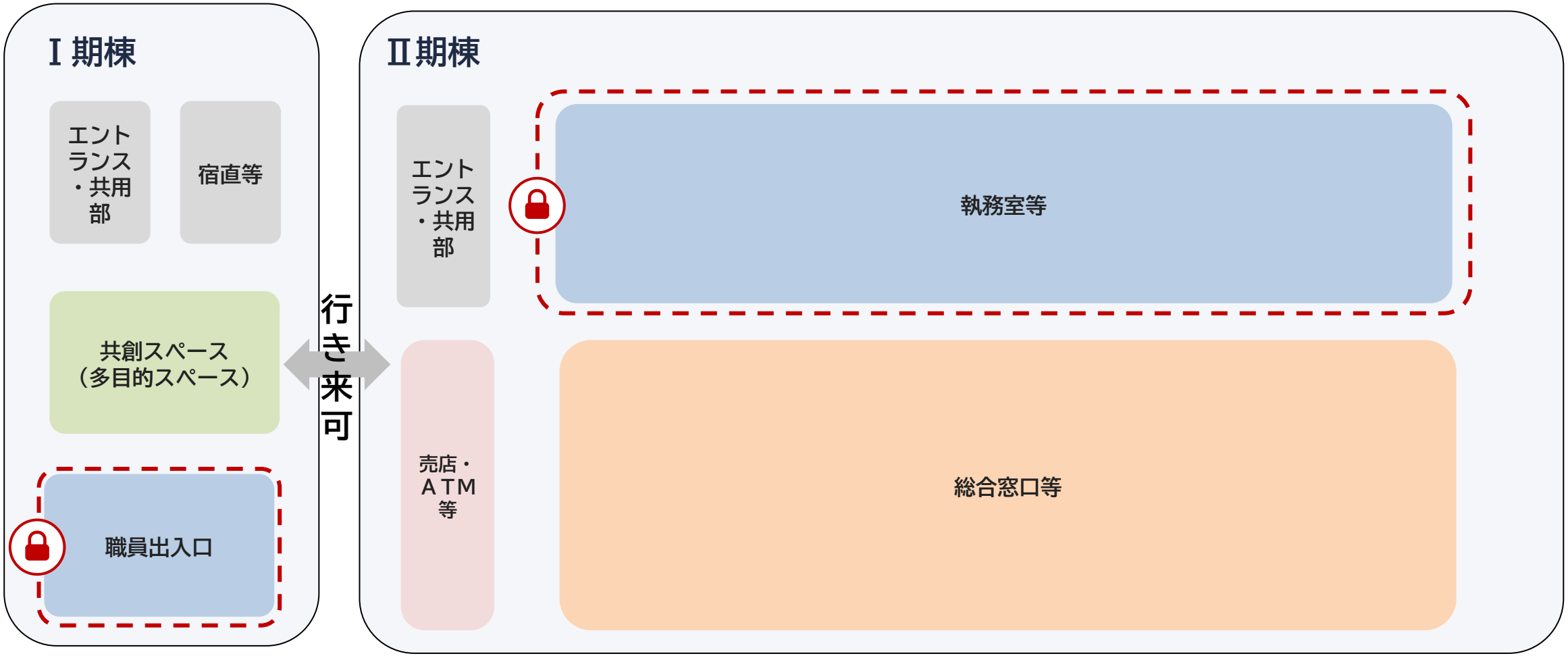
・議会事務局経由で議員控室へ

※　本図のレイアウトは一例となります。

各フロア構成（例）

１Ｆ　１Ｆ　フロア構成

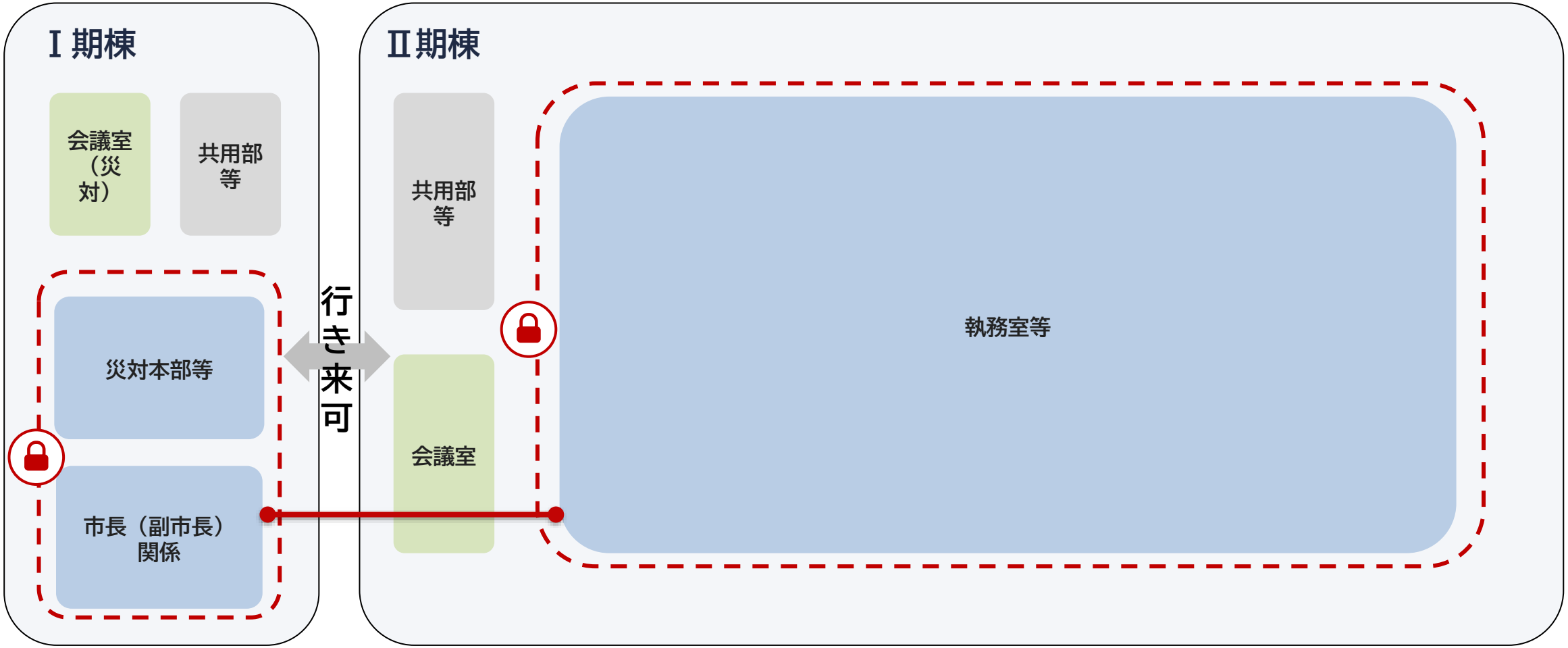
主に市民対応は１Ｆで完結。職員は専用ゲートを設けセキュリティ区画を通過



※　本図のレイアウトは一例となります。

２Ｆ　フロア構成

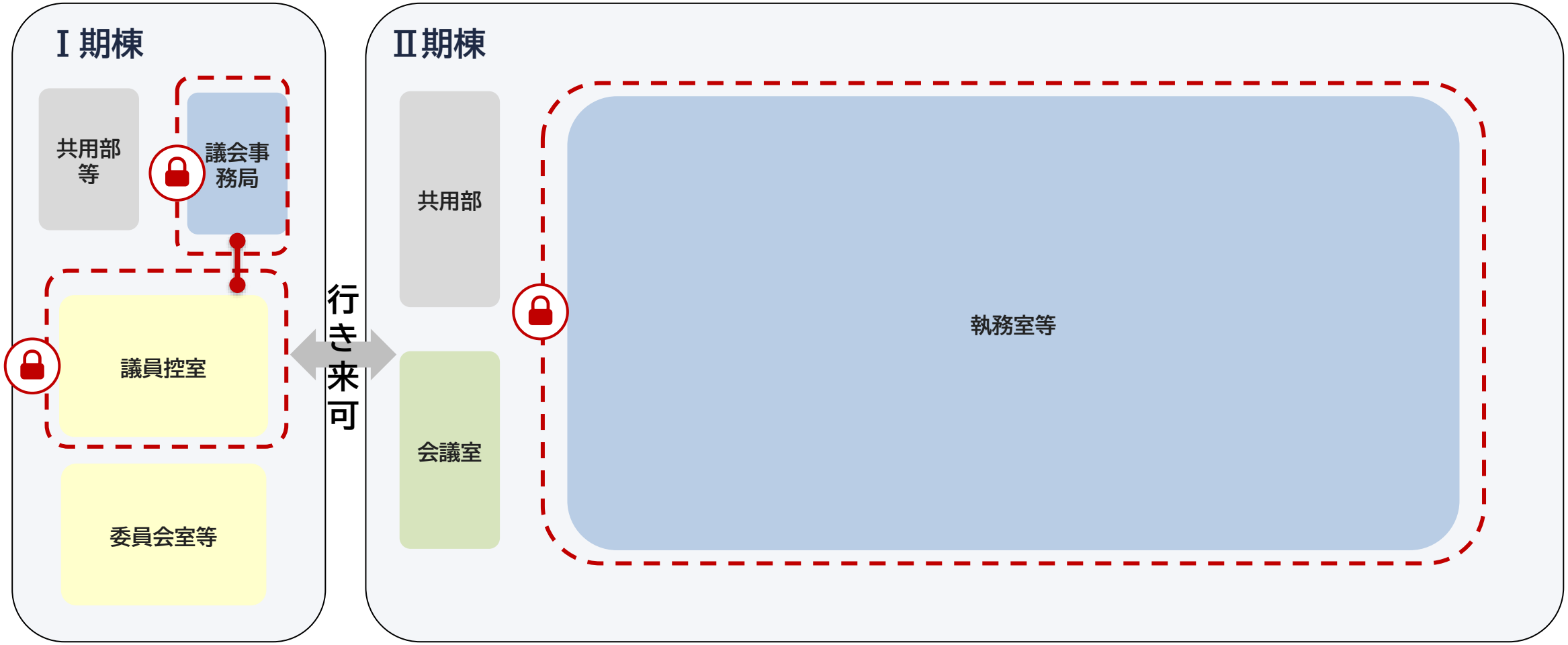
災害時を考慮し、市長・副市長関係、災対本部、執務室を中心に配置



※　本図のレイアウトは一例となります。

３Ｆ　フロア構成

議会関係、執務室中心



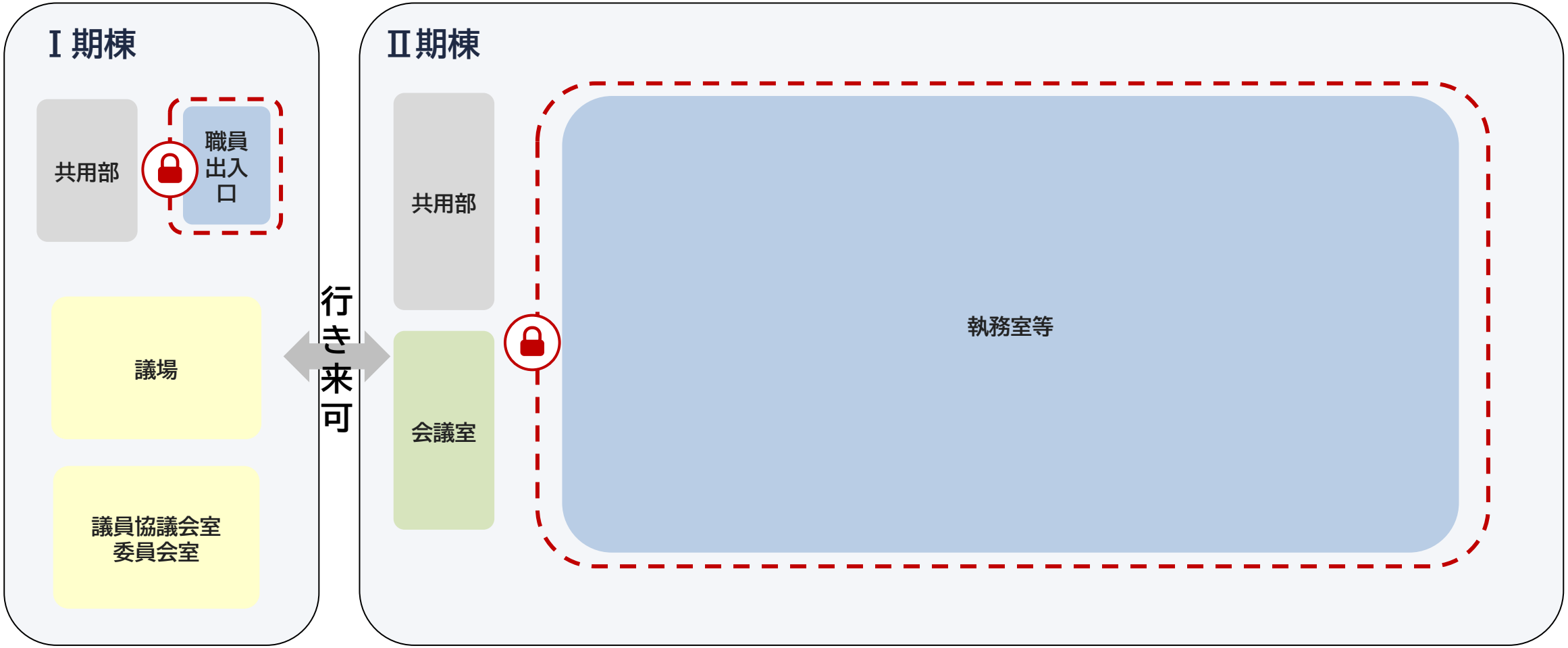
共用部等　職員エリア　総合窓口等　会議室関係　売店等　セキュリティ区画　ゲート／カードリーダー

※　本図のレイアウトは一例となります。

４Ｆ

４Ｆ　フロア構成

議場、執務室を配置。屋上機械置場は想定

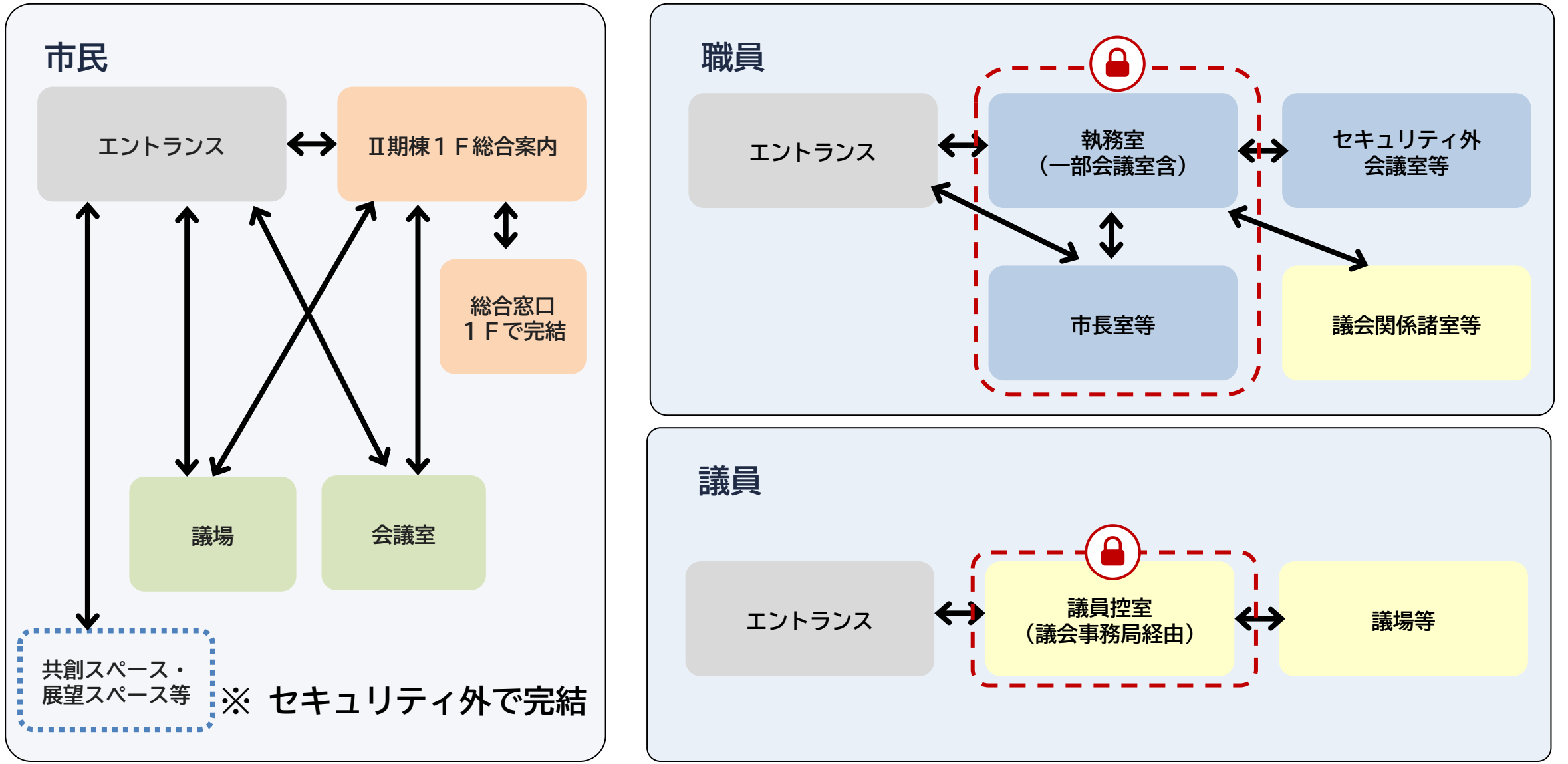


共用部等　職員エリア　総合窓口等　会議室関係　売店等　セキュリティ区画　ゲート／カードリーダー

※　本図のレイアウトは一例となります。

動線計画

来庁者はセキュリティ外で用件を完結し、職員はゲートを通過してセキュリティ内を移動、議員は専用エリアで区画する。



※　本図のレイアウトは一例となります。

想定断面計画

